

メンタルヘルスを勉強

木島孝文氏が講演
「脳の疲れ」を指摘



メンタルヘルスをテーマに講演する木島氏

ムは、会員企業の優秀な人材採用と育成を助けることが目的です。日遊協は業種横断的な組織なので、人事担当者の交流の場を設けて、他業種はどのようなようにやっているのか、あるいは大手・中小を含めて同業他社はどうのようにやっているのかという情報を共有できます。今日はメンタルヘルスがテーマですが、これからいろいろな問題についてフォーラムを開きます。せっかく会員になってくれているのだから参加することで日遊協を利用

していただきたい」と挨拶した。続いて人材育成委員会の井上雄太委員長が「営業に関しては企業同士の情報交換は抵抗があるだろうが、人事・福利厚生・勤務管理などに限っては情報共有ができるのではないか。うわべだけでなく、リアルな情報交換の場にしてもらいたい」と述べた。

「日遊協人材育成委員会主催の」第3回人材育成フォーラム」が12月16日、日遊協本部会議室で開かれ、ホール、メーカーなど会員企業の人事担当者を中心に、女性4人を含む22人(15社)が参加した。

「リアルな情報交換を」

冒頭、日遊協明日の産業創造室の知念安光室長が「このフォーラ

EAP(メンタル面から従業員を

第3回人材育成フォーラム参加者は次の通り (順不同、敬称略)

長谷川大介(株)山水、加藤祐規(ピーアークホールディングス株)、松沢照和(同)、篠田茂雄(株)北電子ホールディングス、国正美穂(株)フローバ、岡島三輝(有)銀座ホール、塩谷加奈(同)、利根川純教(ディーナネットワーク株)、佐藤祐一(同)、和田紀幸(同)、高木幹悦(株)平和、吉野球一(株)山口商事、石渡このみ(株)大日商事、小森孝夫(株)西陣、池田勉(同)、片岡日比加(株)アプリイ、稲葉大介(同)、高橋英夫(山佐産業株)、小祝隆(株)オリンピア、高橋康友(同)、上田哲也(サンキョー株)、向後衛(株)ヒノックス

支援するプログラムの企業、カウンセリングストリート(株)のEAP事業部コンサルタント、木島孝文氏が「従業員のメンタルヘルス」をテーマに講演した。木島氏は、メンタルヘルス障害の基礎知識として、心の病ではなく脳の疲れであることを強調し、発症の原因、治療の内容を解説した。とくに、職

場でのメンタルヘルスケアはどうあるべきか、部下のメンタルヘルス障害の早期発見と対処のポイント、管理職のためのラインケア研修について述べた。

3社が人事状況を報告

このあと、参加企業のうちの3社が自社の最近の人事関連の取り組みを発表した。次いで参加者は3〜4人ずつ6班に分かれ、途中休憩でメンバーを入れ替えながら各1時間近く、計2時間近いフリーディスカッションが行われた。メンタルヘルスの問題をはじめ、

評価制度、労務管理、人材育成などの情報交換をし、抱えている問題や悩みを話し合った。フォーラム終了後、懇親会が開かれ、参加者同士がさらに親交を深めた。

フォーラムは、会員企業の人事担当者たちが人事の課題について意見交換や情報共有する中で自社の問題解決のヒントを見つけること、また他業種や同業他社の人事担当者同士が人脈づくりを図ることを目的として運営されている。第1、2回フォーラムは昨年6、9月に開かれ、それぞれ29人(24社)、17人(13社)が参加している。

遊技機開発委員会

12月8日
本部会議室
出席委員等15人

「試打会」2日開催も検討「エコ」も

5月に開催を予定している「遊技機試打会」(仮称)の企画内容や運営を協議した。出展のために試作するコンセプト機の機能について、パチンコ、パチスロの2班に分かれて、これまでに提案された内容を集約する形で検討した。パチンコについては1月19日の次回委員会までに一部の試作機をつくり、委員たちに提示できる方向となった。



コンセプト機の内容を2班に分かれて協議した遊技機開発委員会

内容、協賛企業等の進捗状況が事務局から報告された。日程については、昨年2月26日に東京・錦糸町のすみだ産業会館で開催した「ぱちんこ&パチスロフェスタ2011」が一般ファン対象に1日だったのに対し、今回は業界関係者対象、一般ファン対象に1日ずつ「2日間の開催」という案が出ている。イベントの内容としては、遊技機の試打だけではなく「エコ」をもう1つのテーマに掲げて社会貢献・環境対策委員会との共同開催案が進められている。協賛企業については、分煙・快適ホールの推進と関連して日本たばこ産業(株)(JTC)と交渉している。

広報委員会

12月20日
本部会議室
出席委員等11人

ブログの運営を協議

速報重視の活動報告に

2月末まで作品募集中の「第2回パチンコ・パチスロ エッセー」

絵手紙コンクール」のPR方法を協議した。現在の日遊協ホームページ、公募ガイド等のほか、ネットのチラシ「パチンコShuffle」にリンクを貼ったことが報告された。また、とくに「絵手紙」の人気をもっと浸透させるため、1月からYouTubeで絵手紙の制作手順などを画像で紹介することを決めた。

日遊協活動を広く社会に知ってもらうため、活動紹介ブログの運営を協議した。ブログではイベント、理事会・専門委員会の議事内容等を短く簡略化してリリースする。とくに速報性を重視して、活動の日から2、3日以内にアップすることを目標とする。理事会・専門委員会の議事内容を発信するにあたっては、当該委員長と事務局の承認を得る。

日遊協の活動を紹介する手段は現在、広報誌、メールマガジン、ホームページ、会員専用サイト等がある。広報誌は最も情報量が多いが、月刊なので情報公開のスピードが遅い。メールマガジンは情報量が広報誌より少なく、月刊だが臨時の発行も可能など小回りが

JANUARY

1月の行事予定

11日(水)	15:30~17:30	広報委員会
12日(木)	12:00~13:30	支部強化委員会(グランドアーク半蔵門)
	14:00~16:00	定例理事会(同)
	16:30~17:00	臨時総会(同)
	17:00~17:20	記者会見(同)
	17:30~19:15	新年祝賀会(同)
13日(金)	13:00~14:40	経営改革委員会
	15:30~17:30	社会貢献・環境対策委員会
	16:00~17:30	人材育成委員会
17日(火)	13:30~14:30	不正対策室会議
	16:00~17:00	流通制度委員会
19日(木)	15:00~17:00	遊技機委員会(開発・健全化合同)
23日(月)	10:00~17:10	取扱主任者新規講習・試験(都市センターホテル)
	15:30~17:30	ホール5団体風営法検討会WG
24日(火)	10:00~16:50	取扱主任者更新講習・試験(都市センターホテル)
25日(水)	10:00~17:00	店長等講習・試験
27日(金)	17:45~	パチンコ・パチスロ産業賀詞交歓会(第一ホテル東京)

利く。しかし、両者とも読者対象は会員等に限定される。ブログは記事が簡略化されて短い、ホームページから入って不特定多数が閲覧でき、更新頻度が高くなれば日遊協活動の活発さと多様性をアピールでき、読者増加につながる。手始めに広報委員会の議事内容掲載を決めた。

骨子の仕上げに

地震対策マニュアル

12月13日
本部会議室
出席委員等23人

「店外オンライン」「消費税」「危機管理」の3テーマについて、それぞれのプロジェクトチームに分かれて検討した。「店外オンライン」チームからは、関西の5店舗でコンビニ商品を景品として提供した実験の途中経過が報告された。景品は美容用品、菓子、事務用品など端玉交換用を軸に500〜1000円程度のパッケージで、仕入れ先のコンビニ2名を明記している。



意見交換に熱が入る消費税プロジェクトチーム（経営改革委員会）

お客様の意見を反映させてパッケージ内容の切り替えも行っており、交換は好調に推移しているという。「危機管理」チームからは、各企業が地震対策マニュアル作成のためのガイドラインについて、基本理念や骨子を盛り込んで仕上げに入っていることが報告された。

遊技機健全化委員会

12月8日
本部会議室
出席委員等19人

161ホールが協力ファンアンケート調査

全国の日遊協会員ホール等の協力のもと、12月に実施された「ファンアンケート調査」の進捗状況が報告された。協力を得られたのは全国56企業161ホール。今回は日遊協会員以外に都遊協青年部会から協賛金と共同開催の協力が得られたほか、九州の組合からの協力も得られた。調査票を回収次第、早ければ12月中旬に集計作業をスタートさせ、1月中旬をメドに

暫定的なまとめをし、2月下旬をメドに完成させるとしている。

不正情報の共有等に関して、意見を出し合った。

警察庁が遊技機メーカー団体に通知

WEB上での財物提供を禁止

全日遊連も対応を文書で発信

警察庁は12月5日、「ぱちんこ営業者による賞品の提供以外に遊技に伴ってサービスを受けることができず遊技機について」と題する通知を遊技機メーカー団体宛てに発した。

警察庁では、当該サービスがぱちんこ営業者の負担による場合は風営法施行規則に反するおそれがあり、またぱちんこ営業者以外の第三者によって提供される場合であっても、客から見れば遊技することにより遊技球・メダルの数量に対応する金額と等価の物品に加えて財物等の提供を受けることが可能となるものであり、各都道府県の風営法施行条例が禁止する「著しく射幸心をそそるおそれのある方法」での営業等に該当するおそれがある、としている。ただし、「当該サービスが客以外的一般大衆にも無料かつ平等の条件で提供されるものである場合を除く」としている。

この中で警察庁は、最近、遊技機の液品上に特定の文字列又はこれを含む情報（二次元コード等）を表示し、特定のWebサイトにアクセスさせることで、ぱちんこ営業者による賞品提供以外にWeb上でサービスを受けることができる遊技機が散見されると指摘し、当該サービスとして、
①財物等（役務及びデジタルコンテンツを含む。以下同じ）の提供を受けることができること
②財物等の提供を受けることができる抽選に参加すること
③その累計数に応じて財物等の提供を受けることができ、又は財物等の提供を受けることができる抽選に参加することができるポイント等を得ることができること——を挙げた。

通知の中で警察庁は、遊技機メーカーは当該サービスを受けられる遊技機を開発することがないようにすること、また既に開発した遊技機（市場に流通しているものを含む）で上記の遊技機に該当するものについて

「マネカレ」参加者アンケート

交流深まり、人脈できた

時間、部屋の改善要望

第5回遊技産業マネジメント・カレッジ（11月18、19日、川崎グランドホテル）の参加者アンケート調査の結果がまとまった。参加した65人（31社）全員が回答した。【よかった点、印象に残った点】では、「他業種・同業他社との交流ができた・深まった・人脈ができた」との回答が半数以上の36人だった。ほかに「グループディスカッションがよかった」「異なった視点からの意見が聞けた・視野が広がった・勉強になった」が、各10人ほどいた。諏訪東京理科大学・篠原菊紀教授（日遊協理事）の特別講演「脳から見た『ぼちんこ・スロットの若年層取り込み』」の感想では、「良かった・勉強になった・参考になった・役に立つ」が31人、「面白かった・楽しかった」が10人、「興味深かった・新鮮だった」が9人。ただし、「分からなかった・難しかった」も5人いた。

【改善すべき点】については、「時間配分やスケジュールのタイトさ」への不満が19人あった。宿泊は大半が1部屋3人だったが、「部屋が狭かった」との意見が11人あった。【今後、望む研修】については、「マネジメント・カレッジの継続開催」が14人いたほか、「他業種・他企業との意見交換・情報交換ができる研修」「人材育成・採用の研修」を望む回答が4〜6人あった。

実務者9人が初会合

風営法ワーキングチーム

風営法改善要望事項を審議する日遊協風営法ワーキングチームの初会合が12月20日、日遊協本部会議室で開かれ、支部等から選ばれた実務者クラスのメンバー9人全員が出席した。メンバーは現場実務や法令の知識を有する担当者クラスを中心に各支部が適任者を推薦し、本部で選考し決めた。さらに、アドバイザーとして行政書士を2人加えた。この日は事務局から、ホール5団体風営法検討会（全日遊連、日遊協同友会、余暇進、PCSA）によるこ

れまでの流れ（解釈運用基準の改善等）、現在検討中の事項（届け出書類の簡素化等）、今後の方向などが説明された。ワーキングチームは月1回以上開かれ、ホール5団体風営法検討会に提案する検討材料について審議をする。次回（1月18日予定）は各メンバーが解釈運用基準を含めて改善検討の意見を持ち寄り、具体的な審議に入りたいとしている。風営法検討に関する最終的な意思決定には理事会の議決を要するが、必要な場合には正副会長会議

は、違法行為が行われることがないよう、当該サービスの提供に用いるWebサイトの内容を修正すること等の対応を求めている。警察庁の通知に関連して、全日遊連は12月21日、都府県方面遊協に宛てて「ホールによる賞品提供以外に遊技に伴ってサービスを受けること

ができる遊技機について」と題する文書を発し、「既に設置されている遊技機で本件に該当するおそれのあるサービスについて、各遊技機メーカーからサービス内容の見直しに取り組んでいるとの連絡を受けており、運用変更の詳細については当該メーカーに問い合わせしてほしい」としている。

セキュリティ対策委員会

撤去機の掌握案を提出

QRコード利用し
データ送信し管理

第58回セキュリティ対策委員会（委員長・山田久雄日遊協副会長）は12月21日、日遊協本部会議室で開かれた。闇スロ、闇パチ業者への機械流出を防止するための当面有効な方策として、全商協、回胴遊商の両団体からQRコードを利用した撤去遊技機の掌握システム案が提出され、各団体が実施に向けて議論を詰めていくことになった。全商協の案では、①ホールは遊



撤去遊技機の掌握で協議したセキュリティ対策委員会

技機を撤去する際、携帯端末等のデジタル機器を用いて撤去した遊技機のQRコード（遊技盤・枠・主基板の3か所）を読み取り、データを地区遊商が新たに設置する専用サーバーに送信する。②地区遊商は専用サーバーに登録されたデータを管理し、各メーカーにその内容を報告する。③データを受けたメーカーは各機械について「使用中」「保管中」「廃棄」などの状態を知ることができる——というもの。また、各都府県方面遊協も効率よく撤去遊技機を集約でき、各ホールも在庫管理ができる。

回胴遊商案も大筋は全商協案と共通しているが、全商協と違う点として、回胴遊商は日電協、日工組という2団体のメーカーの機種を同時に扱うこと、パチスロには両団体に非加盟でQRコードやICタグ対応ではないメーカーも存在すること、回胴遊商は東京本部—各地区打刻事務所という体制のため、実施されたときの打刻事務所のパワー不足の心配、など

が挙げられた。

このシステムを有効に稼働するには、全国全ホールがもれなく専用の携帯端末を所有してデータ送信することが必要、との指摘があった。

貯玉補償基金理事会・社員総会 監事に加藤義久氏

一般社団法人貯玉補償基金（代表理事・深谷友尋日遊協会長）は12月7日、東京・千代田区のグラウンドアーク半蔵門で理事会と臨時社員総会を開いた。理事会で加藤義久氏（日本みらい会計事務所）の社員入社を承認した。加藤氏は続いて開かれた臨時社員総会で監

事に選任された。

このほか理事会で、補償上限額（玉25万個、メダル5万枚）を超えている会員が、9月末現在、貯玉で1562人、貯メダルで413人いることが報告され、これらの扱いについて継続して協議することを確認した。2012年版ポスターが完成し、12月中に各法人に発送された。



理事会であいさつする深谷代表理事

2012 貯玉/貯メダル/再プレー

楽しむための安心・安全













当店は、貯玉補償基金加盟店です。

補償には上限があります

貯玉/貯メダルの補償制度とは?

貯玉補償基金加盟店では、最長の管理からお預かりしている貯玉/貯メダルが、万一、交換不能になっても同基金が代わって補償いたします。

貯玉/貯メダルのデータ管理

機器故障等発生からの事故により、貯玉/貯メダルデータの更新・保存が出来なくなった場合に備え、第三者貯玉管理センターがデータのバックアップを行っています。

一般社団法人貯玉補償基金
http://www.chodama.or.jp/




中古機流通協議会

証紙の発給状況を報告

第75回中古機流通協議会（委員長・金本正浩全日遊連副理事長）は12月1日、全日遊連会議室で開かれ、9、10月の中古用確認証紙と認定用確認証紙の各発給状況が報告された。

パチンコの中古用確認証紙発給状況によると、稼働実績は9月が5万3561件、10万8057台で、前年同月比では件数で98%、台数で79%だった。10月は5万19件、10万3106台で、前年同月比では件数で188%、台数で153%だった。10月の前年同月比が高いのは、昨年同時期にAP EC開催による入替自粛があり、流通が少なかったため。また、認定申請は9月が3241件、2万6272台、10月は484件、1429台。9月は「CR大海物語スペシャル」SAP、「CR牙狼」が主だった。

パチスロの中古用確認証紙発給状況によると、稼働実績は9月が1万5342件、3万3311台で、前年同月比では件数で102%、台数で96%だった。10月は1

万5447件、3万5794台で、前年同月比では件数で192%、台数で176%と高いが、パチンコと同様に昨年のAP EC開催期間での入替自粛の影響となっている。また、認定申請は9月が494件、1454台、10月は474件、1392台。多かった台は9月が「カイジ2R」「ケロット」「忍魂」など。10月が「ケロット」「忍魂」「オアシスS」などだった。

今年も73人とふれあい プロバ、障がい者を招く

広島市を中心にパチンコ、ゲーム店等の娯楽施設を展開するプロバグループ（平本直樹代表）は12月6日、グループが経営する複合施設「エイラ・デイ・プロバ（同市安佐南区）で「障がい者ふれあいフェスティバル2011」を開いた。

この日は同市内と周辺の5か所の施設・作業所から、体に障がいのある人73人、引率者25人が招待され、午前10時から午後3時半ごろまで、食事休憩をはさんで、普段は触れる機会が少ないパチンコ、カラオケ、ボーリング、ゲームなどを楽しんだ。「ふれあいフェスティバル」は16回目の開催となる。

第2回 エッセー 絵手紙 コンクール 応募要項

テーマ（一般、業界ともに同じ）

- 「パチンコ・パチスロでつながる想い」
- 「パチンコ・パチスロをしたことがない方への招待状」
- 「大好き！私のホール、そして私の街」

- エッセー、絵手紙ともに、テーマの中から自由に選んで応募して下さい。
- エッセーは2000字以内でまとめて、なるべく電子メールで送稿してください。
- 絵手紙は市販のハガキに絵と文字で作成してください。
- 住所・氏名・年齢・職業・電話番号（携帯も可）を明記して、電子メールまたは下記事務局まで封書でお送りください。

募集期間 2011年11月1日（火）～2012年2月29日（水）

発表 2012年6月7日（木）日遊協ホームページ <http://www.nichiyukyo.or.jp/>

エッセー	最優秀賞	旅行券30万円分1人	優秀賞	旅行券10万円分2人
	佳作	商品券2万円分10人		
絵手紙	最優秀賞	旅行券15万円分1人	優秀賞	旅行券5万円分2人
	佳作	商品券1万円分10人		

応募先及びお問い合わせ先

E-mail : bosyu@nichiyukyo.or.jp

社団法人日本遊技関連事業協会コンクール事務局

〒104-0033 東京都中央区新川2-12-15 ヒューリック八丁堀ビル2F

TEL 03-3553-4333 FAX 03-3553-4334

応募された個人情報については、個人情報に関して摘要される法令や規範を遵守し、コンクールの目的以外には一切使用致しません。

主催 社団法人日本遊技関連事業協会

協賛 全日本遊技事業協同組合連合会・日本遊技機工業組合・日本電動式遊技機工業協同組合・全国遊技機商業協同組合連合会・回胴式遊技機商業協同組合・遊技場自動サービス機工業会

ただ今募集中!
誰でも気軽に
応募しよう



絵手紙
前回入選作品から



不正対策室会議

磁石ゴトなど討議

11月の情報743件

不正対策室会議（室長・伊東慎吾 日遊協常務理事）は12月19日、日遊協本部会議室で開かれ、PSIO（不正対策情報機構）への入力情報が報告され、続いてゴト情報、不正情報に関する意見交換が行われた。

11月のPSIOのオープンネット情報の内、業界関係19件（昨年同月28件）あり、一般ファンからはパソコン経由では251件（昨年同月比プラス140件）、携帯電話からは492件（昨年同月比プラス32件）と合計743件を数えた。PSIOへの注目が着実に増しているといえよう。

ゴト情報に関しては、最近磁石によるゴトが多数報告されていることについて討議され、昔からあるゴトだが、電磁波ゴトなどが複雑、高度になったのに比べ、技術的要素が少なく、手軽さも加味されているとの意見が出された。玉やメダルの持ち込みも目立ち、これらローテクゴトの広がり、ハイテクゴト対策強化の裏返しでもあるといえるようだ。

不正情報については、ホールコンピュータに対する疑い、機械の設定、店員の挙動や打ち子についての情報が多いのは変わらないが、その真偽や誤解についても慎重に見極める必要があると確認された。

北海道支部拡大役員会

「新ビジョンで結集を」

厳しい状況に松谷支部長

日遊協北海道支部は11月30日、札幌市の（株）ビクトリア観光会議室で拡大役員会を開いた。支部役員、本部専門委員会関係、事務局から計10人が出席した。松谷明良支部長は「業界は今、大変混沌とした状況下であり、とくに行政の取締りが大変厳しい折、ホールも販社も一体となって新しいビジョンの下に結集しなければならぬ。こんなときこそ、業界のために日遊協として何ができるかしっかりと考え行動していきたい」と挨拶した。

当面の支部活動の重点として、①新規会員の勧誘 ②支部ボランティア派遣隊の今後の活動と隊員の補充 ③「第2回パチンコ・パチスロ エッセー」を話し合った。さらに、2012年度の支部活動として、第22回支部総会の日程、第2回会員等拡大交流会などを協議した。

東京都・関東支部役員会

総会を3月21日開催

東京都・関東支部は12月9日、千葉カントリークラブ川間コースで役員会議と親睦ゴルフ会を開いた。役員会議で、11年度支部総会を3月21日、東京・新宿のハイアットトリージエンシー東京で開催することを決めた。その他、12年度の支部活動計画

支部ボランティア派遣隊の活動計画などについて協議した。

中部支部セキリティ対策部会

ローテクゴトに注意

監視強化の必要を討議

中部支部セキリティ対策部会が11月29日、名古屋市中・アイリス愛知で開かれ、山口雅弘支部長、足立利美部会長以下20人が参加しゴトに関する報告、討議を行った。足立部会長は「パチンコはローテクゴト、パチスロはARTがらみのサブ基板ゴトに情報が偏っている。情報が少なく、実態が見えないところがあるが、ゴトは拡散していると思う」と注意を呼び掛けた。

磁石、糸吊り玉、釘曲げなどグループ犯で、巧妙化しており監視を強化する以外ないと討議された。パチスロのサブ基板狙いについては、新しい手口に警戒が必要とされた。また、ゴトグループが18歳未満の少年を使っているケースがあり、厳重な対策で対処することになった。

会員・業界消息

本社・工場移転

株式会社
ジェイビーエス

大阪市西淀川区
姫島5丁目16番11号

TEL06

・4808・2337

FAX06・4808・2339
11月22日

代表者変更

有美観光有限公司

代表取締役・新美保則

10月11日

株式会社大劇

代表者・山口恭廣

6月30日

住所変更

株式会社トレード

福岡市博多区那珂2・1・1

株式会社フェイスグループ

福岡市博多区
博多駅南3丁目6番16号

12月12日

郵送先等変更

株式会社森創

北名古屋市北野小柳30

TEL0568・24・2121

FAX0568・26・0660

10月24日

DATA SPOT

貯玉補償基金加盟状況

	店舗数	前月比
北海道	211	+3
東北	490	+1
東京	471	+10
関東	1358	+17
中部	389	+4
近畿	711	+23
中国	249	+1
四国	117	0
九州	577	+4
全国計	4573	+63

(2011年11月30日現在)